

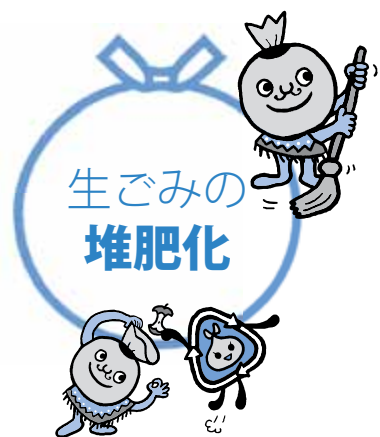


『生ごみハンドブック』には生ごみ堆肥化の方法が詳しく載っています。区役所などで配布しています。

生ごみ堆肥化についてのお問い合わせは、リユースプラザ ☎375-1133



生ごみは土に埋めるだけでも分解されて土に還ります。しかし、場所や臭い、虫などの問題で簡単にはいきません。そこで、家庭でも手軽に処理できる方法が各地で実践されています。生ごみ堆肥化に取り組んでみませんか？



リユースプラザで開催された「生ごみ堆肥化講座」の様子。段ボール箱、密閉容器、コンポスターを使用などの方法が紹介されました。



▲コンポスター

生ごみを多く処理でき、据え付ける方法に気をつければ手軽に上手に堆肥ができる。



▲段ボール箱



EMボカシと密閉容器 ▶

空気のない状態で働く微生物群 (EM) を利用した方法で、畑に使える良質な堆肥ができる。

リユースプラザはリユース品販売や資源回収の場として、今年開設されました。段ボール箱を使った生ごみ堆肥が済んだことがわかります。また、収集日に出した忘れられた雑がみや、その他の資源物を開館時間内ならいつでも持ち込めます。

リユースプラザをご利用ください

持ち込める資源物

ごみステーションで分別収集される資源物のほか、
・新聞、雑誌、段ボール、紙パック
・毛布、古布
(薄手で綿50%以上の布類)
・廃食油
(500mlペットボトルに入れたもの)
・家庭の蛍光灯 (割れていないもの)
・小物金属類
・生ごみ堆肥 (一次処理済みのもの)



- ・所在地：厚別東3条1丁目1-10
- ・交通：地下鉄東西線「新さっぽろ駅」7・9番出口徒歩8分
- ・利用時間：午前10時～午後4時 (リユース品販売は午後3時まで)
- ・休館日：月曜日 (祝日の際は火曜日)
- お問い合わせ ☎375-1133

Q&A

段ボールを使った堆肥化に取り組んでいますが…

Q

温度がうまく上がりません。

A

米ぬかや廃食油、天かすなどを入れ、よくかき混ぜると、翌日あたりから温度が上がってきます。

Q

自分で使わない堆肥は？

A

段ボール箱のままリユースプラザで引き取ってもらえます。

3 使い方

1. 生ごみを入れる

水を切らずに入れて、良くかき混ぜる (小さく切ると分解しやすい)。入れた後は、虫が入らないようにしっかりふたをする。

2. かき混ぜる

一日一回、あるいは生ごみを入れるたびに、箱の中をかき混ぜ空気を取り入れ、40～50℃に温度を保つ。

3. 寝かせる

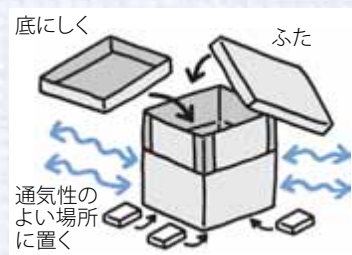
一日500㍓を三カ月くらい続けたら、生ごみを入れるのをやめる。最後の生ごみを入れてから、十日間くらいは時々かき混ぜ、一カ月以上寝かせれば堆肥の完成。(一次処理終了)
※土に1～2割の割合で混ぜて使います。

注意：腐敗臭はしませんが、多少の臭いは発生します。ふたをきちんとしないと、ハエなどが入り虫がわくこともあります。

2 段ボールの組み立て方

(1) 段ボールを組み立てる

段ボール箱の上ふたを立てて、紙テープで四隅を留め、底に段ボール紙を入れて補強。別の段ボール箱でふたを作る。



(2) 基材を入れる

ピートモス12㍓、もみがらくん炭8㍓を混ぜたものを基材として、段ボール箱に入れる。(6：4の割合)

